

オイルガード 490-Ⅱ

取扱説明書

製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

お読みになった後は末永く保管し、ご活用ください。



本社 札幌市中央区大通西10丁目4番地133 南大通ビル新館3F

TEL011-208-4131

① 目 次

表 紙

①目次	P1
②特に注意していただきたいこと	P2
③仕 様	P3
④法規制と届出	P3
⑤各部の名称と寸法	P4
⑥設置・施工上の注意	P5
⑦図解 燃料配管系統	P6
⑧使用上の注意点	P7
⑨各部点検と取扱い	P8
⑩オイルガード490－Ⅱ 付属部品表	P9
⑪参考資料(燃料落下データ)	P10
⑫防油堤図面	P11




② 特に注意していただきたいこと

本製品の用途は、第二石油類(灯油・軽油)を燃焼器具に送油する貯蔵タンクであり、ガソリンは使用できません。




安全のために必ずお守りください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使い頂き、火災・傷害・損害を未然に防ぐ為のものです。
ご使用前に必ずお読みの上、お使いになる方が、いつでも見られる所へ保管してください。



・マークの意味

 禁止	 警告	 注意
	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合	取扱いを誤った場合、使用者が軽症を負うか又は物的損害が発生する危険の状態が生じることが想定される場合

	警告
---	----

	ガソリン厳禁	・ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないで下さい。火災の恐れがあります。表示の内容物以外入れないでください。
	火気厳禁	・火気や炎を発生する機器・高温物体など、引火する恐れのあるものは絶対に近づけないでください。
	吊り上げ注意	・両サイドの吊り上げ穴にワイヤーをしっかりと固定して吊り上げて下さい。

	注意
---	----

	改造厳禁	・改造は絶対に行わないでください。油漏れ・発火・転倒の恐れがあります。
	転倒注意	・製品の上に乗ったり、傾けたり、ぶら下がったりしないでください。転倒し、火災につながる恐れがあります。

③ 仕 様

型 式	オイルガード490-Ⅱ		
寸 法	横	1598	mm
	奥行	1620	mm
	高さ	1895	mm
乾燥重量	288	kg	
燃料タンク容量	446	L	

④ 法規制と届出

火 災 予 防 条 例	<p>・オイルガード490-Ⅱに内蔵のオイルタンクは内容量446Lであり、「少量危険物貯蔵取扱所」に該当し火災予防条例の適用を受けます。</p> <p>・規制の内容は、各市町村によって異なっておりますので、所轄の消防署に確認の上、条例に従って据付してください。</p> <p>・容量200L以上のオイルタンクは、下記の項目について規制を受けます。</p> <ol style="list-style-type: none">1.据付場所・周囲の空間・周囲の防火対策など2.防油堤の構造・送油管の構造・基礎の要領など3.標識・掲示板・消防署への届出など
	<p>・市町村によっては、『消防署への届出』が必要な場合があります。届出には『少量危険物タンク水張(水圧)試験等確認結果通知書』が必要となります。オイルガードユニット内のタンク右下に貼付している「タンク水張り試験確認済証」の確認番号を「共成レンテム」まで連絡いただければ送付致します(有償)。</p>

⑤ 各部の名称と寸法

容積496L
容量446L

37	ウマミネジ		2		
36	点検口カバー		1		11.2 焼融面径×寸法板
35	吊りカブ		2		
34	固定用アイボルト		2		
33	エアースタンプ		1		
32	表示板ホルダー		1		
31	表示板		1		
29	少量用シール		1		
28	火気厳禁シール		1		
27	脚	SS400	2	12.3 焼融面径×寸法	
26	ブラケット	SS400	1	11.2 焼融面径×寸法	
25	フレックシブル	SS400	1	PG1/2	
24	点検扉	SGCC	1	11.2 焼融面径×寸法板	
23	給油扉	SGCC	1	11.2 焼融面径×寸法板	
22	天板	SGCC	1	11.6 焼融面径×寸法板	
21	後板	SGCC	1	11.6 焼融面径×寸法板	
20	後板下	SGCC	1	11.6 焼融面径×寸法板	
19	前板	SGCC	1	11.6 焼融面径×寸法板	
18	前板下	SGCC	1	11.6 焼融面径×寸法板	
17	左側板	SGCC	1	11.6 焼融面径×寸法板	
16	右側板	SGCC	1	11.6 焼融面径×寸法板	
15	タンクスタンプ	SS400	2	特別仕様1.6×75×75	
14	防油板	SGHC	1	12.3 焼融面径×寸法板	
13	平座	SS400	8	M12 焼融面径×寸法	
12	六角ナット	SS400	4	M12 焼融面径×寸法	
11	六角ボルト	SS400	4	M12×4D 焼融面径×寸法	
9	油蓋	計 Assy	1	プロトタイプ仕様IT-G用	
8	エアースタンプ	SGP20A	1	PG3/4N=1B 焼融面径	
7	給油口キャップ	PC	1	E2 1/2 利弁-径-ト	
6	送油口ニツブアル	ZDC2	1	Rc3/4-QF100LYH	
5	送油口ニツブアル	SGP20A	1	R3/4 径×ト×寸法	
4	油蓋ソケット	STK	1	φ60.5 径×ト×寸法	
3	エアースタンプ	SGP20A	1		
2	給油口ニツブアル	SGP65A	1	E2 1/2 径×ト×寸法	
1	缶	SGHC	1	12.0 焼融面径×寸法板	

部品名 材質 数量

図名 オイルガード490-II

図番 HT-LTYD05K

尺度 単位 mm

年月 2007.6.6

業種 株式会社


商品名 御香焼付粉体塗装


会社名 共成システム

⑥ 設置・施工上の注意

1. 「オイルガード490-Ⅱ」を水平で丈夫な床面に設置する。

- [注意]** 1. 屋外に設置する場合は、水平で丈夫なコンクリート基盤・束石などに設置し、市販のアンカーボルト(基礎ボルト)で固定する。
2. 積雪地区では、屋根雪が落下する場所には設置しないでください。

	警告
<p>●設置面が傾いた場所に設置しないでください。 装置のずれ移動、転倒により大怪我や油漏れの恐れがあります。</p>	

	警告
<p>●ブロックの上、あるいは地面への直接設置はしないでください。 装置のずれ移動、転倒により大怪我や油漏れの恐れがあります。</p> <p>●火気や炎を発生する近くには設置しないでください。 火災の恐れがあります。</p>	

2. 配管工事をする

- [注意]** 1) 接続は必ずφ8銅管をご使用してください(φ8専用)
2) 接続は新しい樹脂製φ8スリーブ(白色)をご使用してください。
規格以外の銅管やホースニップルを接続した場合は、油漏れの恐れがあります。

<p>* 火災予防条例準則での管の基準について</p>	<p>* 「火災予防条例準則」の十八「液体燃料を使用する炉にあたっては、」の項目の記述について イ) 金属管を使用すること。但し、燃焼装置、燃料タンク等に接続する部分で金属管を使用することが構造上又は使用上適当でない場合は、当該燃料に侵されない金属管以外の管を使用することができる。 ロ) 接続は、ねじ接続、フランジ接続、溶接等</p>
-----------------------------	--

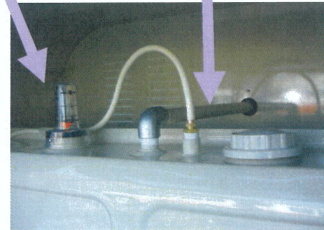
⑦ 図解 燃料配管系統



●(左)残油排出
水抜きバルブ

●油量表

●エア抜きソケット

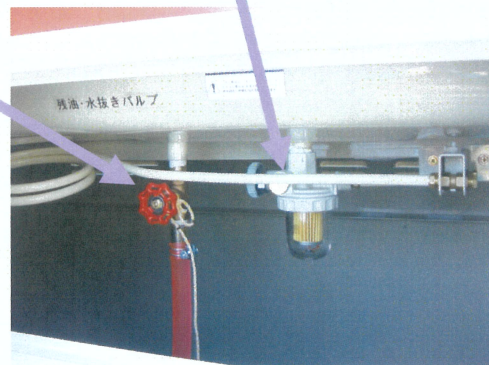


●(右)燃料配管接続口



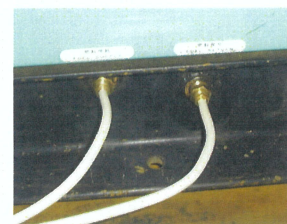
●内蔵防油堤のドレーンプラグ

●燃料供給ストレーナー








●発電機との接続例

●発電機への接続口

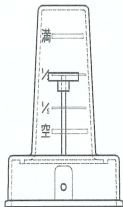
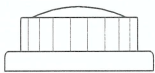
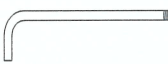
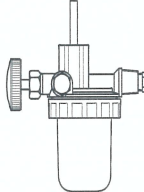
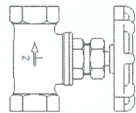
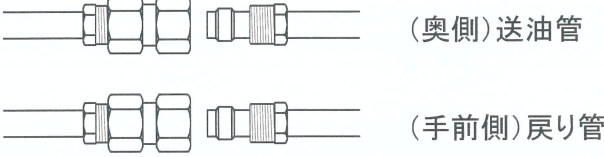


⑧ 使用上の注意点

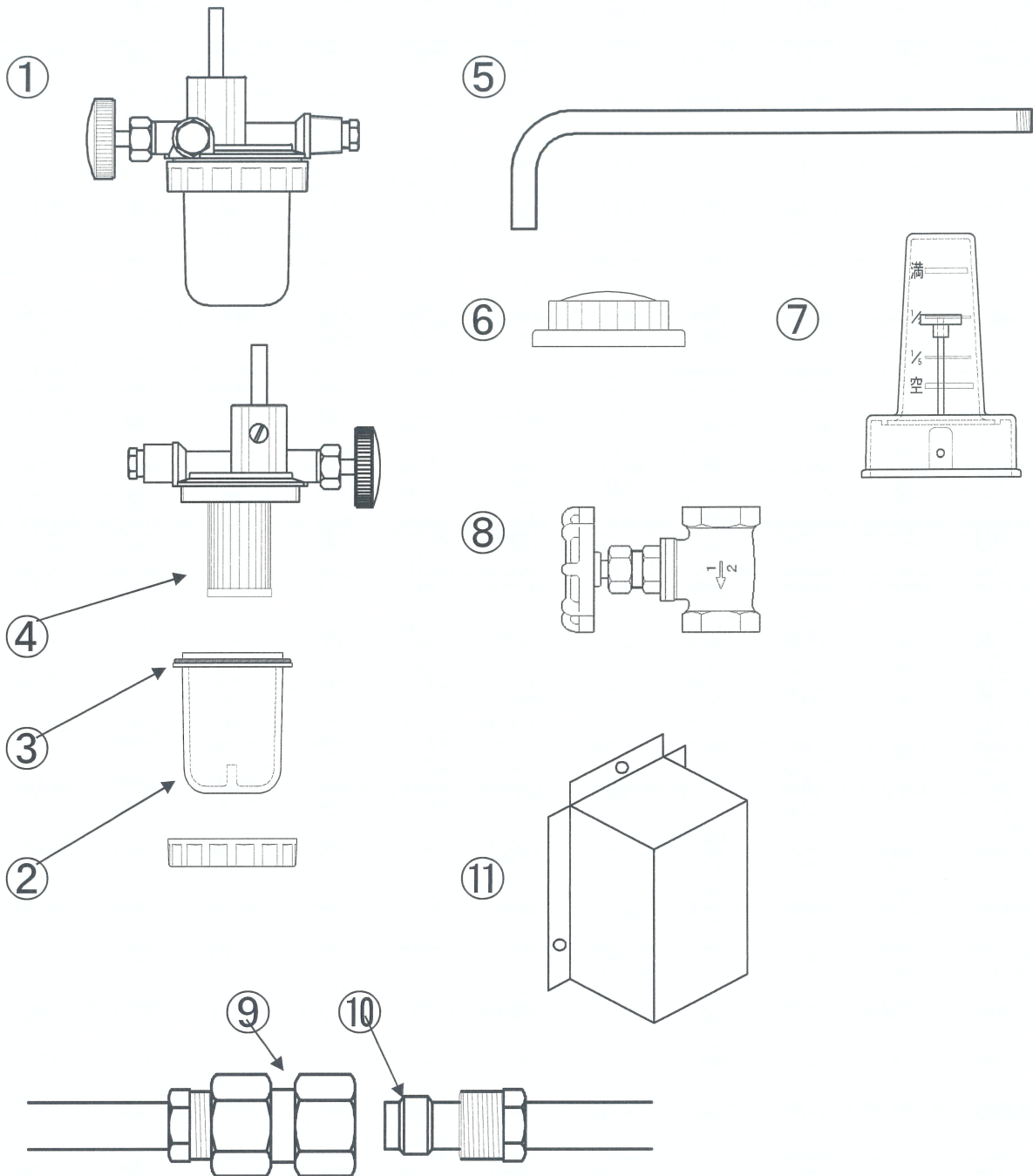
	日常点検	<ul style="list-style-type: none"> ・各部にゆるみや漏れ、あふれ等異常がないか確認してください。 ・本機は、構造上暴風雨等の場合水が浸入する可能性があります。必要に応じて内部を確認して、排水してください。 ・通気管を塞がないでください。燃料の送油ができなくなります。
	吊り上げ時の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・両サイドの吊り上げ穴にワイヤーをしっかりと固定して吊り上げてください。
	移動時の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬・移動するときは燃料を完全に抜いて移動してください。
	燃料抜き取りとタンク内水抜きの注意	<p>・燃料を抜き取る時は、燃料タンク下部の「残油抜き兼水抜きバルブ」からポリタンクなどに抜き取ってください。・燃料タンク内の水抜きも同じバルブから行ってください。</p> <p style="text-align: center;">図解 残油抜き取りと水抜き</p>  <p>●残油抜き兼水抜きバルブ</p>

⑨各部の点検と取扱い

！ 注 意

<p>タンク本体</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1)タンク本体の外面に錆がないか(特に底部)確認してください。腐食が著しい場合はタンクを交換して下さい。 2)点検口から確認しづらい場合は、手鏡でタンク本体の錆の状態を確認してください。(特に両サイド)
<p>油量計</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1)目盛の『満』以上、給油しないでください。油が膨張により溢れる恐れがあります。 2)目盛が『空』になる前に給油してください。配管に空気がたまり燃焼機器に送油されない恐れがあります。 3)樹脂キャップが割れたり消耗度合が著しい場合は、交換をしてください。 4)交換の際は、フロート(浮き)の伸縮方向を左(給油口の反対側)に向け3点のビスを均等に締め固定してください。
<p>給油口</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1)貯蔵油は灯油もしくは、軽油です。(ガソリン禁止)(混同貯蔵禁止) 2)目盛の『満』以上、給油しないでください。油が膨張により溢れる恐れがあります。 3)キャップを確実に締めてください。タンク内にホコリや虫などが入る恐れがあります。
<p>エアー抜きパイプ</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1)パイプの出口をふさがらないでください。送油が出来なくなる恐れがあります。
<p>3wayストレーナー</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1)使用後や配管接続の際は、必ずストレーナーのバルブを閉めてください。 2)ストレーナーのカップ内に水が溜まっているときには、 <ol style="list-style-type: none"> ①『残油・水抜きバルブ』より水を抜いてください。 ②カップ内の水を取り除いてください。燃焼機器の破損の恐れがあります。 3)カップが衝撃、気象条件等によりヒビ割れを発生する事があります。その際は早めに交換してください。 4)カップ内のフィルターが、極端に汚れている場合は交換をしてください。燃焼機器に安定した送油が出来なくなる恐れがあります。 5)ストレーナー交換の際は、ホクエイ純正3wayストレーナーをご使用ください。
<p>残油抜き兼水抜きバルブ</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1)残油抜き、水抜き終了後は確実にバルブを閉めて油漏れが無い事を確認してください。
<p>I型継ぎ手</p>	 <ol style="list-style-type: none"> 1)接続の際は、必ずφ8銅管をご使用してください。(φ8専用) 2)接続は新しい樹脂製φ8スリーブ(白色)をご使用してください。規格以外の銅管やホースニップル接続をした場合は、油漏れの恐れがあります。

⑩オイルガード490-Ⅱ 付属部品表



品名	品番	標準価格
①ホクエイ純正3wayストレーナー	32011549	4,400
②ストレーナーカップφ55×71	16810128	900
③ストレーナーOリングφ54	16810130	400
④ストレーナーフィルターφ35×60	16810129	950
⑤エア抜き(オイルガード490-Ⅱ用)	受注生産品	2,800
⑥樹脂製給油口キャップ	32011508-1	750
⑦油量計(レベルゲージ)	32011507-1	2,780
⑧ストップバルブ1/2	32011511	3,200
⑨I型継ぎ手φ10-φ8	OF-424	950
⑩樹脂スリーブφ8	OF-408B	80
⑪エア抜きカバー	受注生産品	1,500

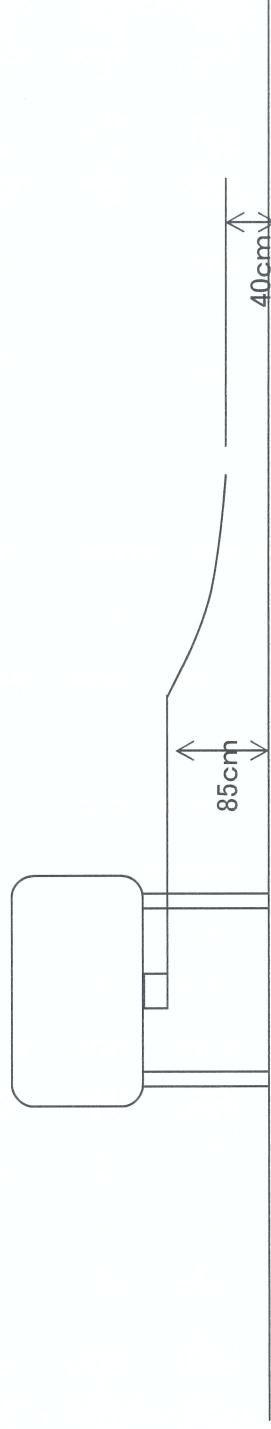
※部品価格は2013年10月1日現在の価格です。予告無く変更することがあります。

⑪ 参考資料

【490Lタンク燃料落下テストデータ】

このデータは、下記の〈条件〉で測定したものです。

燃料の種類や配管の長さ・タンクの高さ・途中での接続や配管つぶれ等での抵抗によって落下量は変わります。

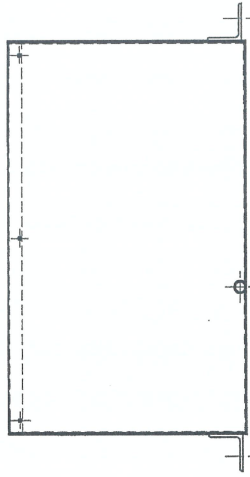
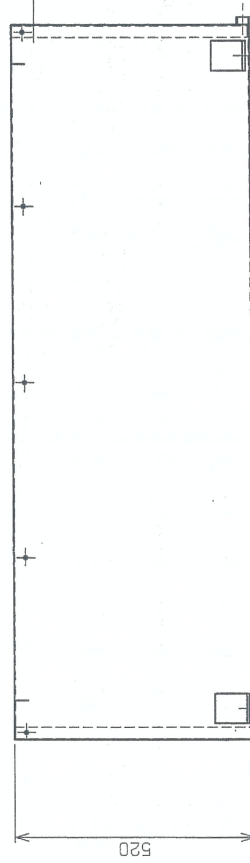
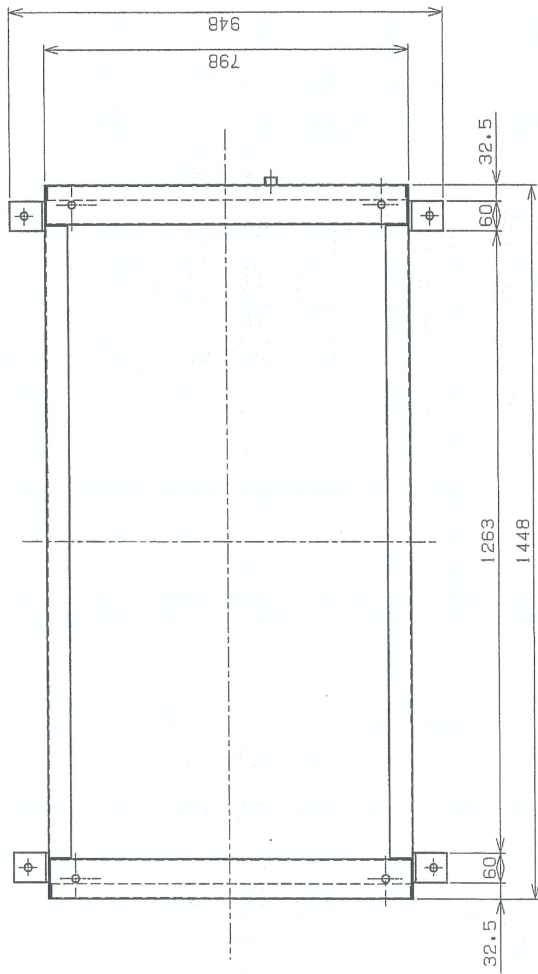


燃料落下結果

燃料ホース	直径 mm	長さ m	流出した燃料 (cc/min)
ピンクホース	10.0	5.0	1480
ピンクホース	8.0	5.0	1120
ピンクホース	6.0	5.0	520
銅管	6.0	5.5	670
灯油用ゴムホース	6.5	5.0	690

〈条件〉

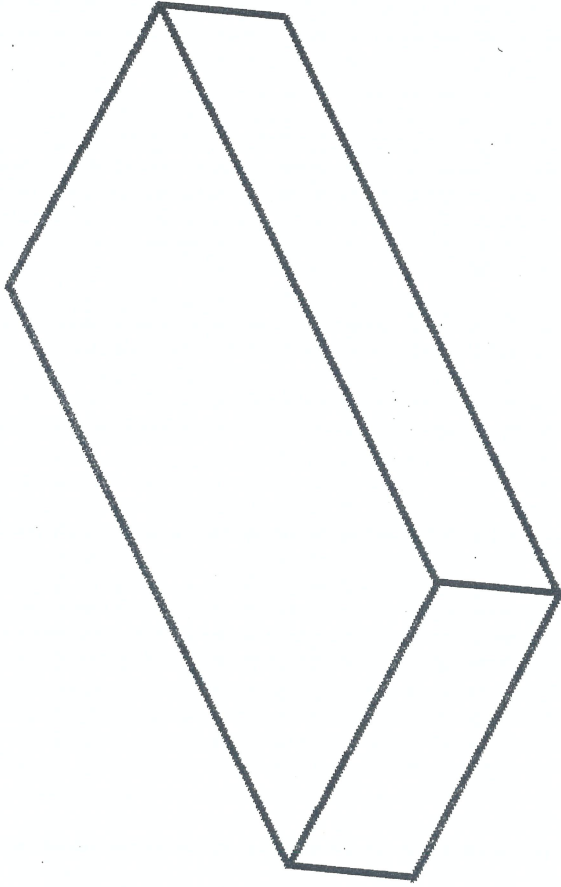
- ・燃料油種 軽油
- ・スタンダード490Lタンクである。
- ・燃料フィルターは新品である。
- ・高低差は45cmである。



1	防油堤組立	ASS' Y	1	個数	記	事
番号	品名	材質	図番	単位	HT-KR117A-01	
図名	レンタルタンク		製図	mm	2010.12.1	
尺	1/10 (1/2)	製図	岡田	検	株式会社	
表面					ホクエイ	
処理					会社	

オイルガード 490 II 防油堤

容積計算書



(寸法単位 mm)

外寸法
W 1448
D 798
H 520
板厚
t 2.3

$$(1448 - 2.3 \times 2) \times (798 - 2.3 \times 2) \times (520 - 2.3 \times 2) = 5900$$

内容積は 5900